

平成24年度
－公共測量－ 作業規程の準則の一部改正(案)

付録1 測量機器検定基準

新旧対照表

付録1 測量機器検定基準

改 正 (案)		現 行		コメ ン ト																									
2-6 GNSS測量機		2-6 GNSS測量機																											
2-6 GNSS測量機		2-6 GNSS測量機																											
検定項目	検定基準	検定項目	検定基準																										
外観及び構造 (受信機、アンテナ)	外観：2-1セオドライトの外観、1) から3) の規定を準用する。 構造： 1) 固定装置は確実であること。 2) 整準機構は正確であること。 3) 防水構造であること。	外観及び構造 (受信機、アンテナ)	外観：2-1セオドライトの外観、1) から3) の規定を準用する。 構造： 1) 固定装置は確実であること。 2) 整準機構は正確であること。 3) 防水構造であること。																										
性 能	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">判定項目</th> <th colspan="2">級別性能基準</th> </tr> <tr> <th>1級</th> <th>2級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">受信帯域数</td> <td>GNSS受信機</td> <td>2周波</td> <td>1周波</td> </tr> <tr> <td>GNSSアンテナ</td> <td>2周波</td> <td>1周波</td> </tr> </tbody> </table>	判定項目		級別性能基準		1級	2級	受信帯域数	GNSS受信機	2周波	1周波	GNSSアンテナ	2周波	1周波	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">判定項目</th> <th colspan="2">級別性能基準</th> </tr> <tr> <th>1級</th> <th>2級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">受信帯域数</td> <td>GNSS受信機</td> <td>2周波</td> <td>1周波</td> </tr> <tr> <td>GNSSアンテナ</td> <td>2周波</td> <td>1周波</td> </tr> </tbody> </table>	判定項目		級別性能基準		1級	2級	受信帯域数	GNSS受信機	2周波	1周波	GNSSアンテナ	2周波	1周波	
	判定項目			級別性能基準																									
			1級	2級																									
	受信帯域数	GNSS受信機	2周波	1周波																									
GNSSアンテナ		2周波	1周波																										
判定項目		級別性能基準																											
		1級	2級																										
受信帯域数	GNSS受信機	2周波	1周波																										
	GNSSアンテナ	2周波	1周波																										
判定項目	観測方法別性能基準	判定項目	観測方法別性能基準																										
	スタティック法・短縮スタティック法・ キネマティック法・RTK法・ネットワーク型RTK法		スタティック法・短縮スタティック法・ キネマティック法・RTK法・ネットワーク型RTK法																										
水平成分 $\Delta N \cdot \Delta E$ の差	15mm以内	水平成分 $\Delta N \cdot \Delta E$ の差	15mm以内																										
高さ成分 ΔU の差	50mm以内	高さ成分 ΔU の差	50mm以内																										

測定結果との比較に用いる基準値は、国土地理院の比較基線場又は国土地理院に登録した比較基線場の成果値とする。
 なお、比較基線場での観測時間等は次表を標準とする。

観測方法	距離	観測時間	使用衛星数		データ取得間隔
			GPS(準天頂衛星を含む)	GPS(準天頂衛星を含む)及びGLONASS	
2周波スタティック法	10km	3時間	5衛星以上	6衛星以上	30秒
1周波スタティック法	1km	1時間	4衛星以上	5衛星以上	30秒
2周波短縮スタティック法	200m	20分	5衛星以上	6衛星以上	15秒
1周波短縮スタティック法	200m	20分	5衛星以上	6衛星以上	15秒
キネマティック法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	6衛星以上	5秒以下
RTK法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	6衛星以上	1秒
ネットワーク型RTK法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	—	1秒

- ①衛星の最低高度角は15度とする。
 ②GPS、GLONASS及び準天頂衛星を利用できるGNSS測量機の場合は、GPS衛星、GLONASS衛星及び準天頂衛星を用いた観測及び解析処理を行うものとする。
 ③GPS衛星及びGLONASS衛星を用いた観測では、それぞれの衛星を2衛星以上用いるものとする。なお、観測に用いる一部のGPS衛星に代えて準天頂衛星を用いることができる。
 ④キネマティック法、RTK法、ネットワーク型RTK法の観測時間は、FIX解を得てから10エポック以上のデータが取得できる時間とする。

測定結果との比較に用いる基準値は、国土地理院の比較基線場又は国土地理院に登録した比較基線場の成果値とする。
 なお、比較基線場での観測時間等は次表を標準とする。

観測方法	距離	観測時間	使用衛星数		データ取得間隔
			GPS	GPS及びGLONASS	
2周波スタティック法	10km	3時間	5衛星以上	6衛星以上	30秒
1周波スタティック法	1km	1時間	4衛星以上	5衛星以上	30秒
2周波短縮スタティック法	200m	20分	5衛星以上	6衛星以上	15秒
1周波短縮スタティック法	200m	20分	5衛星以上	6衛星以上	15秒
キネマティック法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	6衛星以上	5秒以下
RTK法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	6衛星以上	1秒
ネットワーク型RTK法	200m以内	10秒以上	5衛星以上	—	1秒

- ①衛星の最低高度角は15度とする。
 ②GPS及びGLONASSを利用できるGNSS測量機の場合は、GPS衛星及びGLONASS衛星を用いた観測及び解析処理を行うものとする。
 ③GPS衛星及びGLONASS衛星を用いた観測では、それぞれの衛星を2衛星以上用いるものとする。
 ④キネマティック法、RTK法、ネットワーク型RTK法の観測時間は、FIX解を得てから10エポック以上のデータが取得できる時間とする。

準天頂衛星を適用